

## 組合のこれから



安原工業団地協同組合

副理事長 中村俊彦

新年を迎えて、改めて良い年でありますように願いたいと思います。

来年1月に本組合は20周年を迎えます。人間の成長に例えるなら、ようやく足固めが出来、これより成熟期に入る段階と言えましょうか。

顧みますと、当工業団地は分譲開始の昭和51年頃は町会のみで運営していましたが、平成6年頃組合設立の機運が高まり、当時の金沢市長 山出 保さんの強いあと押しと、初代理事長となった安嶋 勇さんが東奔西走のご苦勞をされたことを、当時私も設立委員会に加わっていたことで記憶しています。

創立10周年記念事業は皆さんからの資金で盛大に行われましたが、20周年は身の丈に応じた規模で実施することで、4月以降から実行委員会で準備を進めていく予定です。今後、皆様のご理解とご協力を賜りたいと思っています。

さて、来る3月14日、長年の念願であった北陸新幹線が開通します。一気に関西圏で東海道新幹線に接続することは次世代に持ち越されましたが、乗り換え無しの約2時間30分で東京と直結する利便性のある環境となり、経済効果は莫大なものと期待されております。

そのことは金沢駅周辺及び香林坊等中心部のホテルや商業ビル建設による変貌、飲食店、お土産物販店のリニューアル等に見受けられ、金沢の観光及び食文化を基盤としたサービス産業の業界も胸膨らませていることと思います。

加えて、安倍内閣による「地方創生」に自治体がこの新幹線開業で相乗効果を引き出せるか、その手腕に注目が集まることでしょう。

一方、国内産業に目を転じれば、日本産業界のものづくりを牽引してきた、SONY、パナソニック、シャープ等の生活商品製造企業の衰退を耳にするところとなりました。グローバル化が叫ばれ、海外進出してこそ企業であるとの風潮が現代も見受けられますが、国内で何も作らない、売れないようになっては、産業成長、経済成長は望めないものとなります。

デフレ脱却を目指し、3本目の矢を放ったアベノミクスは、現在原油安の影響か、効果が不鮮明になっている感じで最終的にどうなるか解りませんが、首相の「この道しかない」という理念のもとに、前に向かって動いていることは感じています。

景気の先行きはまだまだ見えにくく、このような厳しい時こそ、安原工業団地では「ものづくりへのこだわり」を持ち続けて、高い技術力で品質を堅持し、異業種間での融和を保ちながら更なるビジネスチャンスを待つことが大切であろうと思う昨今です。

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK  
COOPERATIVE SOCIETY  
NEWSLETTER  
NO. 18

平成27年3月2日発行

2015.3  
第18号

発行 安原工業団地協同組合  
〒920-0377  
金沢市打木町東1400番地  
(金沢市異業種研修会館内)  
TEL (076) 240-1411  
FAX (076) 240-1903

## 今年も楽しく盛り上がった新年会

今年も恒例の、安原工業団地協同組合・町会 合同新年会が、平成 27 年 1 月 7 日(水)に金沢都ホテルで、昨年より 1 名多い 70 名の参加で開催されました。

ことは開会に先がけ、金沢の伝統芸能である小唄の披露があり、なんと、その奏者(篠の会)の中に笛を演奏する野村了理事がいてびっくりしました。小唄と三味線、笛の音色で邦楽の伝統に触れることができ、新幹線開業に向けて一足早いおもてなしを頂きました。

米澤卓也理事長及び金谷尚次副町会長の年始の挨拶の後、来賓の金沢市長 山野之義 様、市議会議員 井沢義武様からご祝辞をいただきました。井沢様はそのご祝辞の中で、今期を限りに議員を引退されるとの報告をされました。これまで安原地区のためにご尽力いただいたので非常に残念でなりません。

懇親会は安原地区町会連合会長西川昇様の乾杯のご発声

で始まり、いつもどおりの和気あいあいと楽しい雰囲気では流れ、大多寿和町会長の中締めでお開きとなりました。

ことし初の行事となる新年会は、新幹線開業に合わせた多数のイベント、金沢マラソンの開催等の話題で会話にも花が咲き、組合ならびに町会にとって良いスタートになりました。



## 米澤卓也理事長が平成26年度金沢市経済活動賞を受賞！

当組合理事長で暁化学工業(株)社長の米澤卓也氏が、平成 26 年度金沢市経済活動賞受賞者に決定し、平成 26 年 10



月 27 日 (月) 金沢歌劇座において贈呈式が行われました。

米澤卓也理事長は、平成 13 年の社長就任

以来社業を発展させながら、多くの経済団体に於いて要職を歴任し、金沢市の地域経済の振興に貢献してきました。また、安原工業団地協同組合理事長、金沢市工業団地連絡協議会会長としての幅広い活動や若手経営者の人材育成に努めている功績などが評価されての受賞となりました。

尚、本年度は米澤卓也氏を含む 3 名の方が経済活動賞を受賞されています。

今後も健康に留意され、今まで以上のご活躍をご祈念致します。

このたびは誠にありがとうございます。

## 平成26年度 文化講演会「音の魅力の水先案内人として」 講師 八日市屋 典之 氏

11 月 11 日(火)、金沢市異業種研修会館において、安原地区の方々を交え 75 名の参加で開催しました。講師に金沢蓄音器館館長 八日市屋典之 氏をお迎えしました。

最初に蓄音器館のコレクションである、明治・大正・昭和各時代に活躍した蓄音器と SP レコード盤の特性について説明がありました。SP レコード盤は、片面に 3～4 分程度の録音が可能で 1 分間に 78 回転する盤ですが、小さな衝撃でもバリッと割れてしまう性質があるため、同館では蓄音器はもちろん、SP 盤の取扱い及び保管にも細心の注意を払っているとの苦労話がありました。

後半は、八日市屋氏が今回のために選りすぐって持参された 10 曲の SP レコードを卓上蓄音器(ビクター 1-90 型)で鑑賞しました。その際、1 曲ごとに大切に蓄音器のぜん

まいを巻きながら曲のエピソード、歌手の話や時代背景についてわかりやすくお話しされました。

蓄音器から出る音は、ノイズはありますが CD や配信の音とは違いホッとしてやさしい音でした。また、目の前で演奏しているかのようなリアル感もあり、初めての蓄音器の音に驚くとともに大変印象深い講演会となりました。

蓄音器館では、各種蓄音器の聴き比べイベントもあるそうなので、改めて訪れてみたいと思いました。



## 平成26年度 研修視察旅行

平成26年度の研修視察旅行は「ものづくりの革新の風を求めて、美濃へ」と銘打ち、金沢市工業団地連絡協議会と合同で岐阜県の元気な中小企業2社の工場見学をしてきました。

10月17日(金)養老町のミズノテクニクス(株)と関市の大同プレーンベアリング(株)を見学し18日(土)は各務原市の航空宇宙科学博物館の見学と郡上八幡の散策をしてきました。

ミズノテクニクス(株)はスポーツメーカーミズノの子会社でこちらではゴルフクラブや野球用バットなどを製造していました。想像以上に手作りの部分が多く、実際バットを削るところを見せてもらいました。経験と勤による職人の技を大切にしているユニークな会社でした。

大同プレーンベアリング(株)は自動車のエンジンの中で使われる軸受けを製造している会社で、広い工場の中にいくつものラインが並び整然とした中にも高度な技術があるら

しいのですが、正直よくわかりませんでした。しかしその一端は社員の方々の話し振りから自信や誇りを感じ取ることができました。

その日の夜は夕食を共にして懇親を深めました。翌日の郡上八幡の街並みは落ち着いて趣きがあり日本のふるさつを見たような気がして、また訪れたいと思いました。



## 第2回 若者の交流会(BBQパーティー)

10月26日(日)内灘町総合公園 サイクリングターミナルにおいて第2回若者の交流会(BBQパーティー)が行われました。大人28名、小学生以下の子供14名の参加があり、企業の若手社員の集まりや、家族連れなどでバーベキューを楽しみました。心配していた天候も当日は晴れ間が広がり、さわやかな海風が心地よいBBQパーティーとなり、参加者みんながお腹一杯、満足しているようでした。

景品早いもの取りビンゴゲームでは大いに盛り上がり、最終的には参加者全員に景品が行きわたり、たくさんの笑顔があふれるうちに解散となりました。



## 「わくワーク(職場体験)」

毎年夏に行われていた緑中学校2年生の職場体験(わくワーク体験)が、11月11日(火)から13日(木)の3日間で行われ、当工業団地でも9社が校外学習の場を提供しました。

このうち、(株)イコマメカニカルでは2名がドアの蝶番に塗装する際の前処理加工の作業を行っていて(パーツ取り付け)、感想を聞いたところ、「立ちっぱなしが疲れます。」「毎日仕事をしている親の大変さが少しわかった。」という



答えが返ってきました。

この体験を通して、自分の将来や地域の産業について関心を持つ機会になってくれればと思います。

## 組合健康講座の受講で若返る!?

平成26年8月20日(水)午後6時から、石川県健康福祉部から派遣された健康運動指導士 元橋美津子さんを講師に、金沢市異業種研修会館の研修室2室を使用して健康講座を行いました。



本年は、ロコモティブシンドローム(加齢とともに骨、関節、筋肉の機能が衰えてくる運動器症候群)予防対策をテーマとしましたが、自覚症状があるとおぼしき28名の積極的な参加がありました。

参加者は関節を意識的にねじったり、無理のないストレッチで筋肉をほぐすたびに、自分の足腰と身体の衰えをあらためて感じた次第です。

正しい歩き方や呼吸法を学ぶとともに、何といたっても継続することが大切であることを受講で痛感しました。

## 青年部 活動報告

9月7日(日)

### 「ソフトボール大会」

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第35回ソフトボール大会が行われ、設営、運営をさせていただきました。



企業9チーム、班1チーム、計10チームの参加でトーナメント方式で試合が生まれ、晴天のもとで白熱した試合が展開され、若松梱包運輸倉庫(株)が優勝しました。

9月23日(火・祝)

### 「第4回安原工業団地組合・町会合同ゴルフ大会」

ゴルフクラブ ツインフィールズにおいて4回目のゴルフ大会及び親睦会が開催され、運営のお手伝いをさせていただきました。9組36名が参加したなか、(株)ヒラト工業の伊藤誠さんが優勝しました。



10月26日(日)

### 「第2回若者の交流会(BBQパーティー)」

内灘町総合公園 サイクリングターミナルにおいて第2回若者の交流会(BBQパーティー)を企画、運営させていただきました。大人28名、小学生以下の子供14名が参加し、ビンゴゲームなどで大いに楽しみました。

11月8日(土)、9日(日)

### 「広島視察旅行」

マツダ(株)広島本社、原爆ドーム、平和記念公園、厳島神社などを見学してきました。

駅前など再開発が進められていて、地方創生のモデル都市としてのポテンシャルが感じられた視察旅行でした。

(9名参加)

12月13日(土)

### 「青年部忘年会」

平成26年度忘年会を「牛たんの仙台 金澤づつみ」にて9名の出席で開催いたしました。北村部長の挨拶に続き道下幹事の乾杯にて会を進め、部員間での情報交換や親睦を図りました。

2月7日(土)

### 「青年部新年会」

平成26年度新年会を「四川料理 昇龍」にて14名の出席で開催いたしました。

北村部長の挨拶に続き生駒幹事の乾杯にて会を進め、今年度の方針である部員間の交流を深め、より事業に参加してもらえる青年部活動にしていこうと結束を図りました。

3月18日(水)

### 「青年部主催の研修会」

金沢市異業種研修会館にて青年部主催の研修会「最強チームをつくる脳カトレーニング」と題した講演を予定しています。自己啓発や社員さん向けの人材育成などの一環になればと思っています。組合員皆様の参加をお待ちしております。

これをもって今年度は無事終了となりますが、日頃から組合員の皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。来年度もよろしくお願ひいたします。

## 女性部 活動報告

11月8日(土)

飾化推進事業として、幹線道路プランターに葉ボタンを植え替えました。

慣れた手つきの方が多く、いつも土ではなく鉄ばかり触っている私達にはとても良い気分転換になります。楽しい会話も交えながら、多忙な皆さんの景色の中に葉ボタンの落ち着きが添えられればとの思いを込めました。

3月にはまた、プランターの花の植え替えを予定していますので、お手伝いをお願いします。

12月12日(金)

会員各家庭にシクラメンを配布し、クリスマス気分を味わいました。

2月13日(金)

第2回研修会を金沢市異業種研修会館にて「エネルギー講座」と「クラフト体験(ポプリ)」を開催致しました。参加人数17名でした。

講師は北陸電力(株)石川支店 総務部藤井章栄氏で、北陸電力の取り組みや、電気・エネルギー・環境についての講演がありました。



限らない資源は一人一人にかけて大切にしていかなければならないなあと再認識しました。

講演会の後、ポプリづくり体験です。同支店の沖津美佳さんの指導で、5種類のハーブから好みの香りを袋に詰めてかわいい布で包み出来上がりです。一人3個ずつ持ち帰りました。



体験の後は懇親会です。割烹たけしの弁当は女性好みにかわいく作られていて、目と口両方で楽しめました。帰りはちょっぴりおみやげもあり、会員の交流も深められて充実した研修会だったのではないのでしょうか。

### 組合事業に協力しました。

11月11日(火)

組合文化講演会に女性部から9名が参加

1月7日(水)

組合・町会合同の新年会に女性部から9名が参加

### あしがき

今年には金沢に北陸新幹線が開業し、地元にとっては明るい年である反面、世界のいろいろな場所でテロや戦争がおきている年でもあります。中東では日本人も被害に遭い、もう他人事ではないのが現実です。

日本で2016年にサミット、2020年にオリンピックが開催されますが、只々平和を祈るだけです。(YT)

発行責任者 米澤 卓也  
編集委員 岩上 伸人、北村 直樹、新川 基  
田中 泰、塚本 裕二、野村 洋  
北川 和男、山口美枝子